

わがまちみらいマネジメント講座 「人を巻き込む活動のデザイン」 実施報告書

- 1 日 時 令和3年9月25日（土）14時～16時
- 2 会 場 長崎市消防局5階講堂（長崎市興善町3-1）
- 3 開催目的 地域活動のリーダー等を対象として、地域活動における運営能力の向上や地域活性化に効果的な手法の習得を目指す
- 4 テーマ 企画を考える時のコツや仲間の増やし方など人を巻き込んでいくためのポイントを学ぶ。
- 5 参加者 41名（別紙「参加者名簿」参照）
- 6 講師 畠中 智子氏（株式会社わらびの 代表取締役）

高知県生まれ、高知県在住。1992年に「高知のまちづくりを考える会」を発足後、市民誰もが参加できるスタイルとしてワークショップ手法に着目。

「自由で気楽で形式張らない」を合言葉に、様々なジャンルで参加型での話し合いの場を企画しファシリテーターとしてサポート。各地で研修や講演も実施している。

2012年に自信が代表取締役を務める「株式会社わらびの」を設立し、高知ならではの魅力を高める様々な事業にも取り組んでいる。



7 実施内容

○旗あげアンケート

畠中さんの自己紹介の後、ウォーミングアップも兼ねて、参加者全員で旗あげアンケートを行いました。旗あげアンケートとは、参加者全員の思いや考えを確認することができるファシリテーションの手法です。

会場参加者は赤・黄色・青の画用紙を、オンライン参加者は、それぞれの色が付いた身近なものを手元に用意し、設問に対して、当てはまる色を一斉に掲げました。



質問は、
「今回この講座に参加しようと思ったきっかけは？」

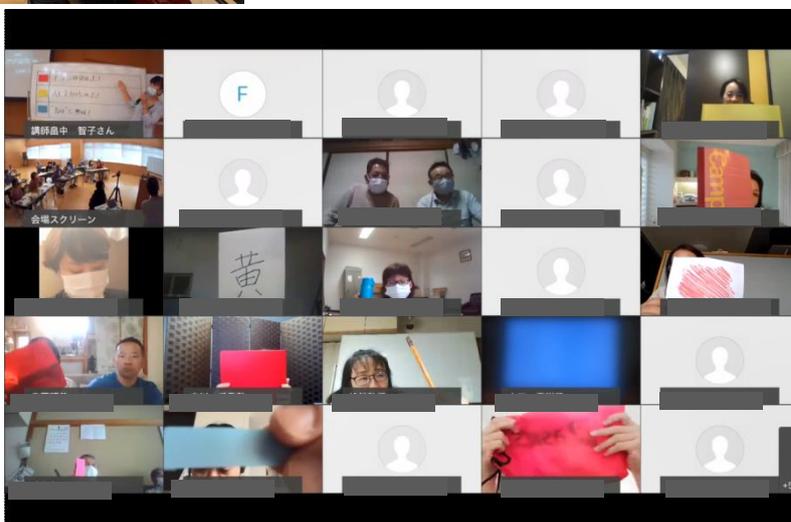
赤：チラシの内容が良かった！
青：人と交わりたかった！
黄色：“畠中”に興味！



(会場の様子)

みんなで一斉に旗あげること
で、ワイワイとした楽しい雰囲気
となり、会場全体に一体感が
生まれました。

オンライン参加の皆さんも、ノートやクリアファイルなど思い思いの
もので、受講のきっかけ
を表してくださいました！



○事例紹介①～とさっ子タウン～

●きっかけ

人を巻き込む事例の1つ目として、「とさっ子タウン」が紹介されました。このイベントは、ドイツのミュンヘン市で30年以上運営されている、こどものまち「ミニ・ミュンヘン」を参考に企画したもので、2007年から学生と社会人からなる実行委員会を設立し、2009年から2019年まで毎年開催されました。

高知ならではの仕事・文化・遊びが体験でき、様々なコミュニケーションが生まれ、社会のしくみを知ることができる「まち」をつかって、子どもたちに、現実の「まちの運営・社会のしくみ」に関心を持ってもらい、高知をもっともっと好きになってもらいたい！

そんな想いから生まれたイベントです。

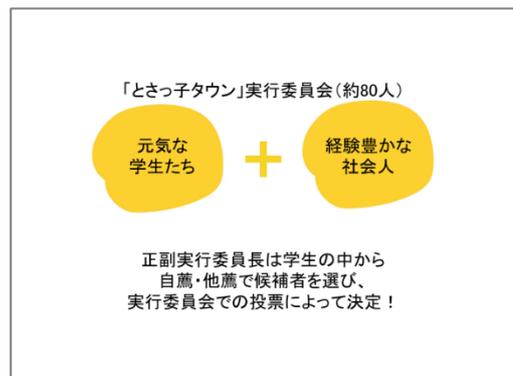
●どんな人たちが運営しているの？

とさっ子タウンの実行委員会はパワーとやる気と時間がある元気な学生たちと、知恵や経験が豊富な社会人で構成されています。実行委員長を学生が務め、大人がそれを支えるという構成にすることで、学生も主体的に参加できる場となり、また、代表者が1～2年おきに代わることで、常に新陳代謝が図られます。

●とさっ子タウンってこんな2日間！

とさっ子タウンは子どもたちが、仕事、文化、遊びを体験でき、社会のしくみを知ることができる「まち」です。

市民登録局で市民登録し、ガイダンスを受けた後、とさっ子タウンで使える地域通貨「トス」が支給されます。



トスを受け取った子どもたち（市民）は、ハローワークへ向かいます。ハローワークでは、体験できる仕事が案内されています。業種は、約60業種あり、それぞれに専門家が参画しています。この専門家は、一般募集は行わず、社会人実行委員会の繋がりを使った一本釣りをお願いした方々です。

仕事を体験した市民は、とさっ子銀行で給料を受け取り、隣にある税務署で税金を支払います。

「仕事を探す」→「仕事に就く」→「給料をもらう」→「納税する」という一連の流れは市民証に記録されるしくみです。

このしくみは、とさっ子タウンを数回実施した後に実行委員のアイデアから生まれたもの。このしくみができる前は、納税を証明するものがなかったため、「脱税」だらけだったそうです。

市民たちは、自分で稼いだ「トス」で、食べたり、遊んだり、学んだりすることができます。

なんと、起業をする市民も！

それぞれが思い思いに、まちに足りない「何か」を見つけ、起業します。

ガイダンスを終えた市民、まずはハローワークへ！



市民の約7割が働ける仕事量が用意されています



仕事の種類は約60業種
それぞれに専門家が参画



銀行で給料をもらう



税務署で税金を支払う

とさっ子銀行／四国銀行



「市民証」に記録

仕事を探す → 仕事に就く → 給料をもらう → 納税する



まちに足りない「何か」を見つけ
起業する市民たち



隔年で市長、議員の選挙も行われます。

選挙は、高知県と高知市の選挙管理委員会の協力のもと、実際の投票箱と投票用紙を使うなど、とっても本格的！

●とさっ子タウンでどんないいことがあったの？

市民として参加した小・中学生が、高校生や大学生の実行委員に憧れて進学を決めたり、大学生の実行委員が社会人実行委員や仕事を教えに来てくれている社会人から「社会人としてのあり方」を学んだり。社会人は我が子をとさっ子タウンに参加させたいと思いながら活動しています。

このように、人が育ち、つながっていく輪が広がりました。

また、とさっ子タウンの通貨である「トス」を普通のまちで使える日を作ったり、オリジナルグッズを作成したりと、とさっ子タウンから別のイベントや事業などにも派生して行きました。

●新型コロナウイルスの影響は？

2年連続で中止となってしまいましたが、オンライン会議が普及したことで、県外に進学、就職した実行委員も話し合いに参加できるようになるなど、思わぬ効果もありました。

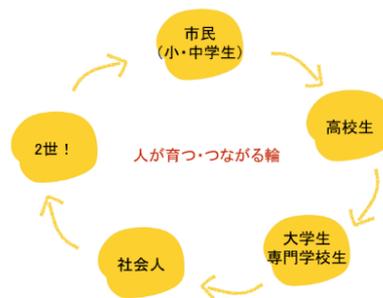
隔年で議員選挙も実施



隔年で市長選挙実施



人気の公約は、
「給料を上げます！」
「税金を下げます！」



- 第65回読売教育賞『最優秀賞』受賞
- 第8回協働まちづくり表彰『グランプリ』受賞
- 第2回笑顔あふれる地域イベントアワード『優秀賞』受賞



新型コロナウイルス感染拡大の影響

実行委員会はオンラインが主体となる。
実は、ZOOMが思わぬ効果をもたらした！

- ・県外に進学、就職していた実行委員も継続して話し合いに参加できるようになった
- ・みんなの顔と名前が一致し始めた
- ・room機能を使えば少人数ごとに話し合いも深められる

○質問タイム①

- Q. 知らない子ども同士の交流の最初にしていることは？
- A. 仕事を選ぶときに知っている子供たちが同じ仕事につくことは難しいです。むしろ、知らない子供たちが交流せざるを得ない状況だからこそ、別の学校の人と交流ができます。中にはなかなか交流をしない子供もいましたが、そういう生き方もあっていいと思うし、あえて交流を促すようなことはしませんでした。その子は、とってもよく町の様子を観察して、後でアンケートに書いてくれました。子供の力を大人の物差しで見えてはいけないなと教えられました。
- Q. 外国人の参加者はいますか？
- A. 中国の方などの参加はありましたが、言葉が伝わらないような人の参加は今のところありません。
- Q. 実行委員会 80 人の学生と大人の割合は？
- A. だいたい半々です。
- Q. 実行委員の人の集め方は？
- A. 実行委員を公募したことはありません。小中学生が高校生に、高校生は大学生に憧れるように直近に憧れられるような存在をつくることで、流れをつくることができました。高校生や大学生を誘う方法については、一本釣り。また、自分の身内に手伝ってもらうことも1つの手で、自分の身内に「手伝って」と頼める内容かどうかは物差しになります。身内にも頼めないようなイベントを赤の他人に頼むことは難しいと思うからです。
- Q. 第1回までに苦労したことで印象に残っているものは？
- A. 対象年齢をいくつにするかによって、内容や準備が大きく変わるので非常に悩みました。実行委員の中でも、何度も話し合いを重ねて、小学4年生～中学3年生にまでに決定しました。
- Q. 大人が学生をサポートする中で心がけていることは？
- A. 学生のやる気をつぶさないことです。でもチャホヤすることもしません。ダメなところがあるときに、学生の考えを尊重しながら、どう伝えるかは苦労しました。それができるような大人の実行委員を集めています。

○事例紹介②～GO!GO!ちびチャリピクニック～

●きっかけ

高知県の人気の観光スポットである「アンパンマンミュージアム」。

せっかくやってきた親子連れに長居してもらえるようなアクティビティがほしい！ミュージアム前の広場が、地域みんなも参加できて滞在時間を延ばして、経済効果も生めるような場所になったらいいな。そして、地域全体が盛り上がりたばいいなといった想いから企画されました。



高知県の人気観光スポット「アンパンマンミュージアム」(やなせたかし記念館) せっかくやってきた親子連れに長居してもらえるアクティビティがあったらいいな！

ミュージアム前の広場、ここがもっと楽しい場所に、地域みんなが参加できる場に、滞在時間を延ばして経済効果も生めるような場所になったらいいな！

●どうしてキックバイク？

アンパンマンミュージアムに来る子供たちの年齢に合った体を動かす遊びとして、キックバイクを使うことを思いつきました。

そうだ、キックバイクだ！

対象年齢は2歳～7歳＝アンパンマンミュージアムに来る年齢。全力で遊びたいことも、遊ばせた親。懸命に走る姿はとにかく可愛い!!

●まずはやってみよう！

そのころ、畠中先生は、アンパンマンミュージアム界隈の活性化について委託を受けていたので、その委託費用を使って、キックバイク(ちびチャリ)を購入し、「ちびチャリであそぼう！」というイベントを企画しました。

まず実際に、やって見せることで、ちびチャリとは何かをみんなに知ってもらうことができました。



●参加者の声から生まれたアイデア

「ちびチャリであそぼう！」に参加した親子から、「もっと賑わいをつくることをやるならいつでも声を掛けて！」といってもらえたことから、ちびチャリだけでなく、食事や買い物も楽しめる「マルシェ」を開催しようと思いつきました。

マルシェであれば、参加者もゆったりと滞在時間を延ばしてくれると考えました。

●GO!GO!ちびチャリピクニック

マルシェのアイデアを実現させたのが、「GO! GO!ちびチャリピクニック」です。地元のお店や、カフェ、生産者、施設、地元ゆかりの方々などに「丁寧な一本釣り」で声をかけ、イベントの趣旨を十分理解してくれて、やりたいといってくれる人に出店してもらうようにしました。

「ちびチャリであそぼう！」を開催し、写真があったため、説明する時に様子が伝わりやすかったそうです。

こうして始まったちびチャリピクニックは、参加者数、出店者数ともに年々増加し、高校生たちがスタッフとして手伝ってくれるようにもなりました。

地域が賑わい、人が出会い、人とつながり、人が育つ。足し算のようにつながりが広がるイベントになりました。

「子どもと一緒にすごい楽しい時間を過ごせた♪
うちの店でできることで、
もっと賑わいを作ることかやるやったら、
いつでも声をかけて！協力するき！！」



そうだ、マルシェだ！

お買い物が楽しくて、
美味しいものも売っていて、
のんびりピクニック気分。
ゆったり滞在時間を延ばしてもらおう!!



協力・出店呼びかけは
「丁寧な一本釣り」

地元のお店、カフェ、生産者、施設、
地元ゆかりの方々
地元高校生、大学生
ご縁のある企業etc.



地域が賑わって嬉しい、
出会いがあって嬉しい、
人がつながって嬉しい、
人が育って嬉しい、
嬉しいがいっぱい

●新型コロナウイルスの影響は？

新型コロナウイルスの感染の拡大により、会場となる広場が使用出来なくなってしまうため、2020年と2021年は開催が中止となってしまいました。

今は、協力者、出店者、ボランティアとSNSを通じ、日々の近況を報告し合って、細々とつながりを継続しています。

そんななか、出店者から、「四万十川の河川敷でちびチャリをやりたい！」とオファーがあり、「おでかけGO!GO!ちびチャリ」を開催することになりました。

つながりを継続していたからこそ生まれたイベントです。

2020年・2021年
新型コロナウイルス感染拡大
開催中止

協力者、出店者、ボランティア
それぞれとSNSを駆使して
日々の近況を伝えあったりしながら
「つながり」を細々と継続。

Facebookやりよってよかった！
Instagramやりよってよかった！
blogやりよってよかった！

なんと、オファー！

高知県の西部「四万十市」から出店してくれていた
老舗和菓子屋さんが所属する地元商工会より、
「四万十川の河川敷でちびチャリをやりたい！」
と、嬉しいご相談♪



質問タイム②

Q. キックバイクは何台ほど購入されましたか？

A. 5台購入しました。県内で取り扱っている店を探し回りました。

Q. 畠中さんの原動力は？

A. とにかく、楽しいことが好き！という気持ちです。この指とまれ！っていう自分自身が楽しんでないと人は集まってくれないと思います。

Q. どんな時にやりたいことって思いつくの？

A. やりたいことは、いつでも頭の中に妄想として渦巻いています。20年前に出会った人から教わったことで、「やりたいことはとにかく口に出す」ということがあります。やりたいことを口に出すことで、考えに賛同してくれる人が寄ってきてくれます。

Q. 出展ブースのテント・机・椅子は事務局が準備する？

A. 出店する人が自分で用意してくださいとお願いしています。

Q. マルシェの出店料は？出店者間のトラブル等はなかったですか？

A. 売り上げの10%で上限額を5,000円にしています。出店者間のトラブルはありません。みんなお友達という目線で参加してくれています。

Q. アイデアは湧いてくる？ひねり出す？そのアイデアは、誰に最初に話す？

A. アイデアをひねり出したことはありません。週末にアンパンマンミュージアムの横でカフェを開いているので、そこで話すことが多いです。

Q. 失敗した時はどうしてる？

A. 失敗もいっぱいしているのですが、失敗したという自覚がありません。天性の楽道家なのだと思います。上手くいかなかったら、次どうすれば上手くいくかということしか考えないようにしています。

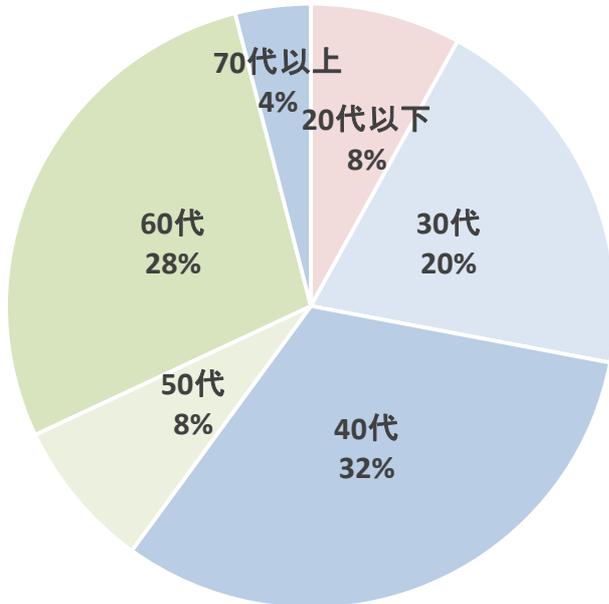
8 アンケート結果

別紙「アンケート結果」参照

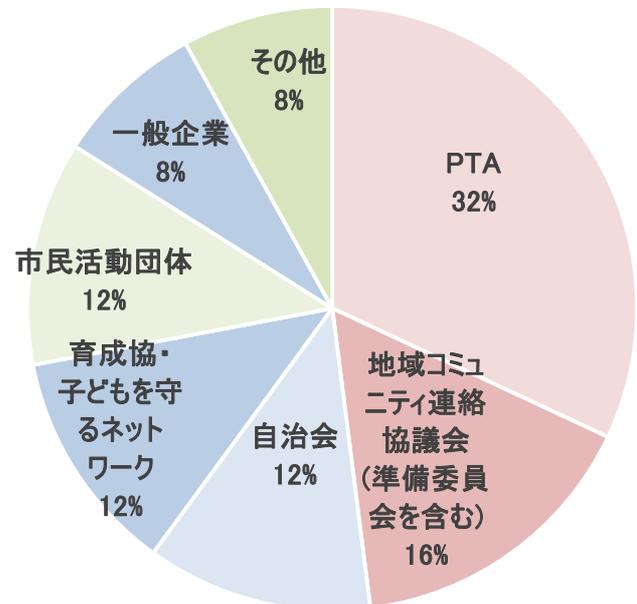
わがまちみらいマネジメント講座
令和3年9月25日開催「人を巻き込む活動のデザイン」アンケート結果

回答者25人（参加者41人）

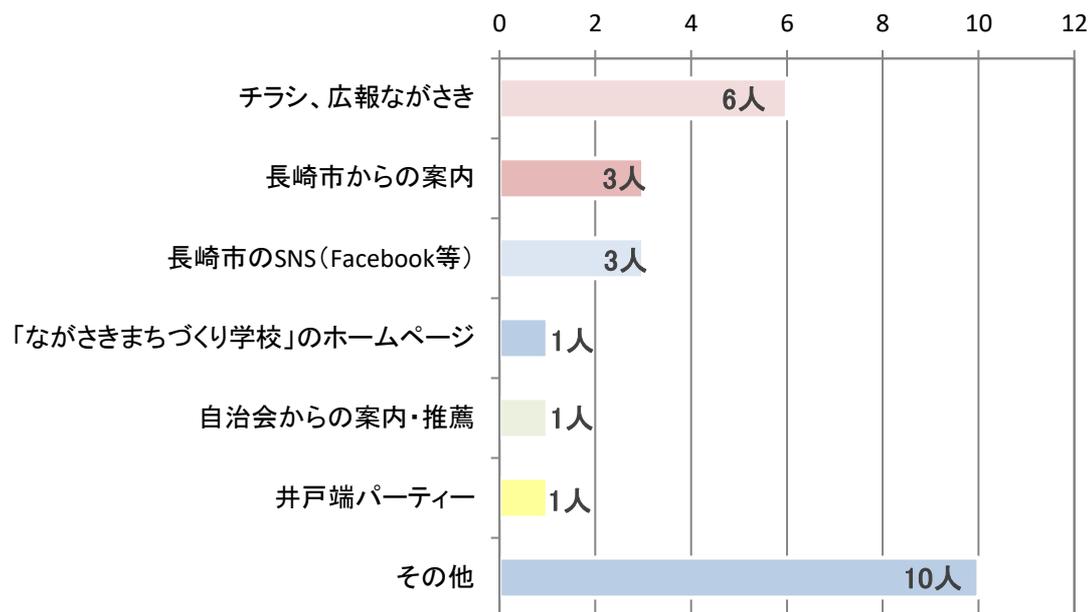
参加者 年代比率



参加者 団体比率



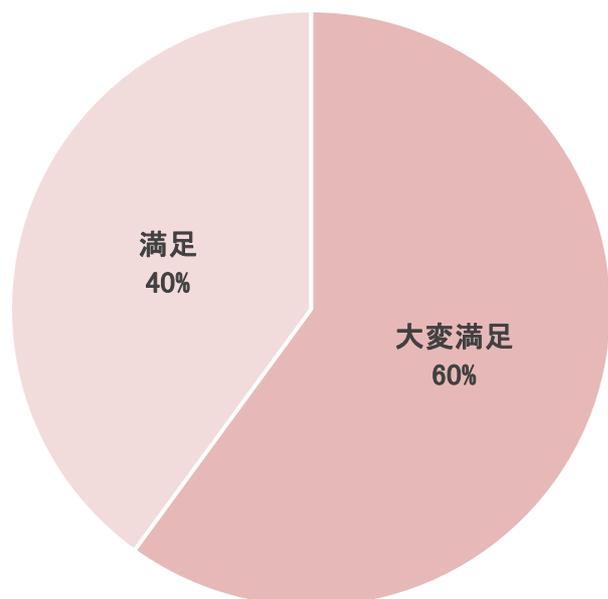
1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか？



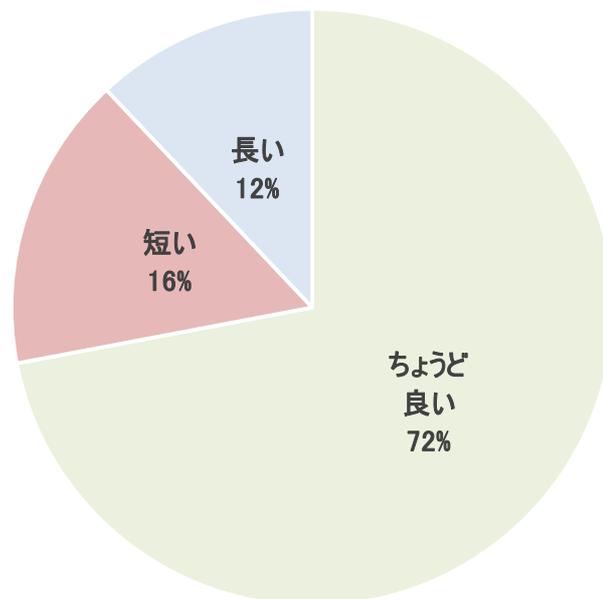
【単位：人】

2 本日の講座の評価について、当てはまるものを選んでください。

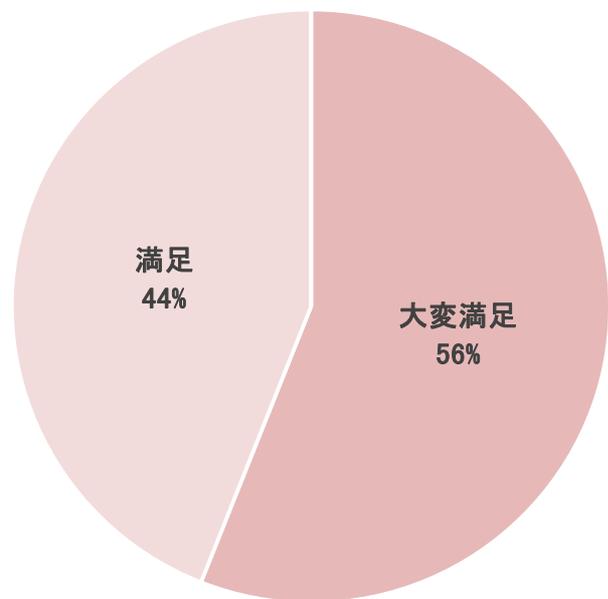
(1) 講座内容について



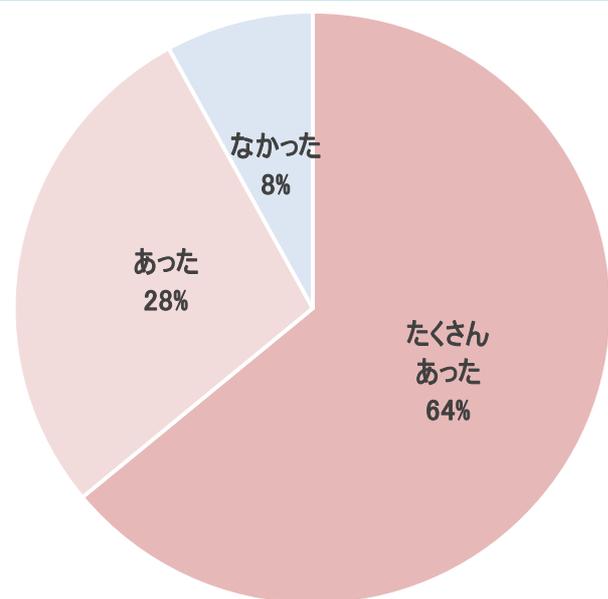
(2) 時間配分について



(3) 全体的に（事務局の対応等も含めて）



3 新たな発見や活動の参考になることはありましたか？



4 新たな発見や活動の参考になったこと（自由記述）

楽しさを創り出すには自分が楽しみたいことをやること
自分達でも工夫次第でやれそうな気がした。
後継者作り
子供のを地域活動に参加させる事が、地域の活性化につながっていく事が良くわかった。
大人が楽しむと子どもも楽しめる。大人の働きかけが大事だと思いました。
とさこタウンでの活動
子供の部活動の役員などの際に取り入れたい部分がありました。
キックバイクの取り組みは良かった
多くの人を巻き込んで地道な努力とパワーなど
未来構築に繋がる子ども向けイベントの開催の方法やあり方について色々勉強になりました。
大人が楽しいと思ってやる事が大事だと思いました。
まちづくりスタートの境遇から自分と重なる部分があり、うんうんとうなづきながら拝聴しました。「実行委員は募集しない」「先行投資」が響きました。
子どもの参加年齢等もしっかり決められていたりと細かくされていた事
周りをいかにまきこみながら(楽しみながら)、地元を活性化させる取組み、「丁寧な一本釣り」みんなに喜んでもらう工夫を知ることができた。
人とのつながりが地域の魅力だということがよくわかりました。
・押し付けでなく、相互による意見の出し合い(年齢問わず) ・小さな成功体験の積み重ね。
地域のため、子ども(未来)のために畠中さんみたいなアイデア、すばらしいと思いました。私も長崎でいつかできる機会あればと思いますが。
・とさこ子タウンの取組み ・人が育つつながる使命
・募集しない ・口コミの大切さ ・一本づり ・思いついたら口にする
イベントをする上での方法を具体的に教わった
若い人たちをどう取り込んでいくか、常に悩むところですがそれを自然にやって成果を上げていたことに感謝しました。

5 今後学んでみたいこと（自由記述）

オンラインでもやれる楽しいこと
今は、特に思いつかない。
まちづくりに必要なリーダーシップやコミュニケーションを学びたいです。
具体的なイベントの企画運営の仕方
経済性
長崎県内において、様々な地域活動をされていることを知りたいです。また、他県での一般市民と行政機関との連携事例のような新しく面白そうなことを学ぶ機関があると嬉しいです。
参加したい自分もやりたいができる子どもたちを集めたいと思いました。
年配の方とのコミュニケーション
・市・町・村での垣根が無くならないか。(町のイベント、市のイベント、どなたでも参加できるように) ・自治会の子供会・老人会…つながり、垣根を無くせないか。
どんなことが可能でどんなことが不可能なのか。
他地域(都会も含めて)の連携事例
・自治会活動活性化への取組み ・自治会と子ども会や老人クラブとの連携のとり方
口コミ一本づりで実行委員を増やして新しい行事を作ってみたい。人のつながりを勉強したい。
子ども達(高校生・大学生とのつながり)をどのように集めるか？
世代間の交流を図りながら、如何に次世代につないでいくかを学んでいきたい。

6 その他、ご意見・ご要望、感想など（自由記述）

名前と所属の参加者名簿があるといいと思う。
楽しく活動していく事は、子供にも伝わり、周りの人々も取り込んで繋がって行く事がよく分かりました。ありがとうございました。
今回の講座資料は何かあったのでしょうか？スライドのPDFなどが事前配布されていればメモなどが取りやすかったな、と思いました。
オンラインの参加でしたが、とても分かりやすかったです。ありがとうございました。
オンライン参加でしたがとても有意義な話を聞くことができました。 畠中さんの行動力、人柄によってたくさんの方が参加し、協力してくれて高知の地域活性化に繋がっていると感じました。 たくさんの世代を取り込むことで、高知の魅力を再発見した若者の県外流出も防いでいて素晴らしい取り組みだと思いました。 私には畠中さんのような行動力がないので、畠中さんにぜひ長崎に移住してもらいたいくらいですが、畠中さんがやりたいことは言葉に出してみるといいとおっしゃっていて、これは日常生活でも取り入れてみたら少し何か変わっていくかなと思いました。最初はマネジメント講座と聞いて自分とは畑違いではないだろうかと思っていましたが、気持ちも前向きになれるような話を聞けて良かったです。ありがとうございました。
地域活性化に繋がるまちづくりは進めて欲しいが、ボランティアに頼る取り組みは、限界があると思います。
今日は受講している時からとても楽しそうだな、長崎でもぜひやってみたいな、との思いを抱かせて頂きました。長崎の良さを子どもたちへ継承して行くことは、まず大人の私たちが楽しみを持って生活や活動することが大事ななと改めて感じました。本日は受講でき良かったです。ありがとうございました。
すばらしい企画力、アイデアでとてもたのしく勉強になりました。畠中先生の高知弁がとても良く高知にいきたくなりました。
今日は参加できてよかったです。ご準備から当日まで、お疲れ様でした。ありがとうございました！
本日は学び・気づきをたくさんいただける講座となりました。ありがとうございました！
自分の身近な人に頼れるかどうか、自地区の活動を楽しみながら、たて横のつながりを深めていきたいと思った。あぐりの丘の室内で、老人・子供をまきこんだ活動ができないか。老人の方、子育てに忙しい親の集える時に集える場所、健康づくりができる空間づくり。手伝いたいです。
コロナ禍でとても明るい内容で地域の希望となる話でした。ありがとうございました。
長崎だけの視点ではなく、他地域の参加者もこうすべき。同じ地域だけで話をすすめてしまうと、そこからのブレイクスルーが生まれにくい。私自身が東京出身だったのでそう思った。
参加できてよかったです。ありがとうございました。
本日はありがとうございました。これからもこのような講座に積極的に参加、受講したいと思います。
自分が楽しむ。私も頑張ります。
今日はすごく良かった。また機会があったらお話を聞きたい

このような催しを現在準備委員会等を組織しているところに、講師として呼んで戴きたい。
このような催しを地元にも勧めてもなかなか参加戴けない。直にこのようなものを見せて、自分らがどうしたらできるかを理解して戴きたい。